

整理番号	44-12	事務事業名	文化財保護事業		作成部署	生涯学習部 社会教育課	電話	内線891
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内 平一郎	課長職名	可児 正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S55年頃		根拠法令等	文化財保護法・史跡旧島松駅通所管理条例・北広島市文化財保護条例				
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内には、国指定文化財、特別天然記念物、埋蔵文化財包蔵地など貴重な文化財が数多くあることから、これらの適切な保存、活用を図るため事業を開始した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち		(第 4 章)
	節	芸術と文化		(第 4 節)
	施策	歴史・文化の継承		(第 4 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民及び文化財		
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市内にある国指定史跡旧島松駅通所、特別天然記念物野幌原始林をはじめとした貴重な文化遺産等は、郷土の歴史や文化を後世に伝える上で貴重なものであることから、これら文化財の適切な保存を図るための収蔵施設の充実や展示施設(郷土博物館的施設)の整備を目指すとともに、市民の理解や協力のもとにこれら文化財を活用し、文化財を守る心を培い、ふるさと意識の醸成を図る。		
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 文化財等補助員の配置 文化財保護審議委員への諮問(北広島における文化財保護のあり方について) 国史跡旧島松駅通所の維持管理の実施 東記念館郷土資料室及び郷土資料作業所(プレハブ)維持管理 全国史跡整備市町村協議会(市負担金)への加入 北海道市町村文化財保存整備協議会への加入 	
		17年度	同上	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	390	308	410	410
	一般財源	7,579	5,189	5,273	5,273
	合計	7,969	5,497	5,683	5,683
人件費(概算)	人数(年間)	0.40	0.40	0.40	0.40
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	3,600	3,600	3,600	3,600
総事業費 +		11,569	9,097	9,283	9,283

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	旧島松駅通所開館日数	162日	162日	162日	162日
	東記念館郷土資料室利用日数	25日	12日	12日	12日
	文化財等調査補助員(非常勤)の1年雇用日数	246日	243日	247日	248日
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	旧島松駅通所観覧者数	9587人	6370人	9587人	9587人
	東記念館郷土資料室及び郷土資料作業所の観覧者数(小中学校社会見学及び総合学習等)	620人	376人	376人	376人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	観覧者一人当たりのコスト	290円	416円	314円	290円
	(1年間の駅通所管理費 ÷ 観覧者数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	石狩館内9市町村の内8市町村が博物館等の施設を所有しており、地域が持つ文化遺産を保存・活用するために資料館や博物館の必要性は益々高まってきている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	遺産である国指定旧島松駅通所は市が所有しているため、適切に保存・管理を行っていかなくてはならないことから妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	文化財を後世へ継承していくことは、円滑な運営や管理をしていかなければならないという意味から妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在、資料の運営や管理が中央公民館のロビー、東記念館の資料室、元シルバー人材センター建物で行っており、点在しているため非効率的な手法となっていることから改善が必要である。	資料の展示・保管といった運営を一括して扱える博物館的施設の整備が必要である。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	国指定史跡旧島松駅通所については管理・保全し後世に継承して行くには適正な受益者負担を求めることは妥当と考える。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	旧島松駅通所の観覧者数は前年より天候等の影響により落ち込んでおり、小中学校の観覧者数においても落ち込みの状況である。利用人数において改善していかなくてはならない。	旧島松駅通所は市内唯一の史跡であり、後世に残していかななくてはならない貴重な遺産であることから、ふるさと意識の醸成を図るためより多くの普及活動を行う必要がある。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	旧島松駅通所を広く市民に周知していく。	旧島松駅通所を利用した企画展を開催するなどして施設を利用していく必要がある。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	・国指定史跡旧島松駅通所及び周辺施設の老朽化に伴い修理等が必要である。 ・収蔵施設としてある元シルバー人材センターのプレハブの老朽化に伴う整備とともに、資料の収集、保存、整理を行い、これらの成果を展示、普及していく郷土博物館的な施設が必要である。 ・史跡公園等の実現を目指すために、緑の基本計画や策定予定の文化振興計画を基に計画していく必要がある。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	旧島松駅通所及び周辺施設の老朽化等に伴う保存・修理については、計画的な対応が必要である。なお、大規模な施設の整備については別途評価する。